

国立大学法人 愛媛大学 (所在地: 愛媛県松山市)

事業名 他分野連携による訪問カレッジ・オープンカレッジ@愛媛大学

事業の趣旨・目的

- ・重度重複障害者は、学校卒業において就業を含め「日中活動（特に生涯学習）の場」を見つけることが難しい現状がある。
- ・特別支援学校等で積み重ねてきたこれまでの学びの継続の場や新たな学びの場を提供するために「訪問カレッジ」と「オープンカレッジ」を実施する。
- ・生涯の各ライフステージにおいて、安心・安全に生活や学習ができる場（自宅や病院、利用施設等）での安定的な学習機会を整備するために、これまでで本学で培ってきたノウハウの技術移転を図る。

事業実施体制・連携先

- ・主な連携先：愛媛県（教育委員会、障がい福祉課、まなび推進課）、松山市教育委員会、久万高原町教育委員会、先行実践NPO法人、カレッジ生通院・入所先病院、当事者親の会等

主な対象

重度重複（重症心身障害・盲ろう）

活動分野

学習/文化芸術/スポーツ/普及啓発

事業の取組内容

○訪問カレッジの実施

- ・外出が困難な重度重複障害者を対象に、カレッジ生の安心・安全に学習ができる場（自宅や利用施設等）に人的資源を派遣し、個別の学習機会を提供した。
- ・活動に取り組むにあたって、カレッジ生の意思表示には、コミュニケーションエイド（スイッチや視線入力装置等のICT機器を含む）が有効であるため、それらを積極的に活動に取り入れ、活用した。機器の選定・設置については、愛媛県障がい者ICTサポートセンターと連携し、カレッジ生の実態にあったものを活用できる体制を構築した。

○オープンカレッジの実施

- ・愛媛県内の社会教育施設に協力を依頼し、カレッジ生が集まって学ぶ参集型の集団学習活動を実施した。
- ・卒業版の「校外学習」と位置付け、個別の活動だけでは十分に体験することが難しい「直接体験」を通して、カレッジ生の興味関心の幅を広げ、日々の学習へのモチベーションを高めるとともに、他のカレッジ生や地域の人々との交流を行うことによって、コミュニケーション能力の促進や協働して学ぶ機会を創出した。

○連携協議会の実施

- ・本事業の目指すべき方向性の共有や地域との連携体制を構築の目的とした連携協議会を3回実施した。

○「共に学び、生きる共生社会コンファレンス ○（まる）のつどい」の開催

- ・障害者の生涯学習を支援する担い手や地域の社会教育施設の担当者を対象としたコンファレンスを実施した。
- ・医療・福祉分野、社会教育分野の担当者の交流を促進し、地域において障害者の生涯学習の取組を促進するための情報交流を行った。



活動の様子



訪問カレッジの様子



オープンカレッジの様子



○（まる）のつどいの様子

その他

詳細は、「障害者の生涯学習支援」専用HPまたはInstagram、Xのページをご覧ください。

愛媛大学教育学部附属インクルーシブ教育センター
HP https://ehimeuniv-cie.jp/syogai_gakusyu/



HP



Instagram



X